

海外インフラデットファンド第3号の組成について ～インフラ事業の持続可能な発展に貢献しつつデットファンド投資機会を拡大～

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社(代表取締役社長:佐々木 裕介、以下「AMOAI」)は、2021年1月アンカー投資家から200億円のコミットメントを受け、海外のインフラストラクチャーを投資対象とするデットファンド「Cosmic Blue PF Magnolia FCP-RAIF」(以下「本ファンド」)を新たに組成しました。本ファンドは、2016年7月に組成され、2018年3月にインフラ投資・プライベートデット投資の分野で国際的なアワードを受賞した「Cosmic Blue PF Trust Lily」、及び2018年10月26日に組成された「Cosmic Blue PF Lotus FCP-RAIF」に続き、AMOAIが投資顧問会社として組成・運用するインフラデットファンドの第3号となります。

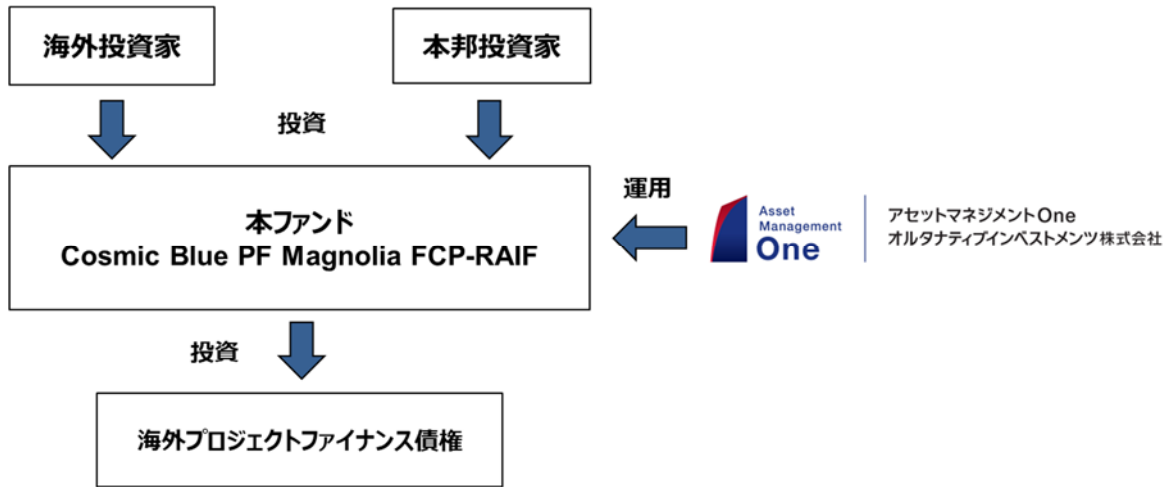
本ファンドは、本邦投資家の運用資産と海外のインフラ市場を結びつけることで、投資家に魅力的な投資機会を提供するとともに、投資先の国や地域社会の持続的な発展に必要なインフラ事業へ投資を行うものです。第1号及び第2号ファンドで培ったノウハウも最大限に活用し、海外プロジェクトファイナンス債権を投資対象としてグローバルに分散されたポートフォリオ運用により、金融機関や年金基金等の機関投資家の皆さま向けに長期安定的なリターンを提供します。

さらに、本ファンドにおいてはオプションとしてインフラメザニンデットに投資するビークルを追加し、より多くの投資家の選好に沿った商品設計としております。

今後、本邦投資家のみならず海外投資家も含めて広く投資家を募り、本ファンド単独でインフラデットファンドとして世界トップクラスの規模である1,000億円程度の運用残高を目指します。

AMOAIは、インフラデットファンドの運用において投資哲学として「エッセンシャルティ(Essentiality)」をキーワードに国や地域社会に必要なインフラ事業への投資を行うことに専念し、第1号及び第2号ファンドにおいてグローバルに分散された良質なポートフォリオを構築してきました。また各投資案件については、エクエーター原則の遵守等を含むネガティブスクリーニングに留まらず、ポジティブなインパクト評価をSDGsの枠組みに沿って定性的、定量的に実施するなどESGの観点を重視した運用に取り組んでいます。本ファンドの組成・運用を通じて、海外プロジェクトファイナンスに強みを持つ資産運用会社としてのプレゼンスのさらなる向上を目指すとともに、機関投資家の皆さまの運用ニーズに応えるべくさらなる運用プロダクト開発に注力していく所存です。

【スキーム図(概要)】



【本ファンド概要】

ファンド名称	Cosmic Blue PF Magnolia FCP-RAIF
投資顧問会社	アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社
投資目的・投資対象	長期安定的なキャッシュフローを有するインフラプロジェクトへ分散投資 電力・運輸・上下水道・病院等、社会に必要不可欠なインフラが投資対象
投資対象地域	全世界

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社
企画管理部 03-5221-1340